

2021年1月29日

投資家の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D ベトナム株式ファンド」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D ベトナム株式ファンド」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2021年 1月28日 基準価額(円)	2021年 1月29日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&D ベトナム株式ファンド	12,413	11,702	▲711	▲5.73

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2021年1月27日	2021年1月28日	騰落率 (%)
VN 指数	1,097.17	1,023.94	▲6.67

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、1月27日と1月28日を比較しています。

	2021年1月27日	2021年1月28日	騰落率 (%)
ベトナムドン(対円レート)	0.451	0.452	0.22

(ベトナムドンは小数点第4位四捨五入、騰落率は小数点第3位四捨五入)

上記についてはベトナム株式の値動きの基準価額への反映を参考に、1月27日と1月28日を比較しています。
為替レートは100ベトナムドン当たり、単位は円です。

出所:ブルームバーグ

◆足許の状況

1月28日のベトナム株式市場は大幅に下落しました。前日の27日に米国で株式市場が急落し投資家心理が悪化する中、ベトナムではハイズオン省とクアンニン省で新型コロナウイルスの集団感染が確認されるなど、約2カ月ぶりに市中感染が明らかになったことが株価の下落要因となりました。昨年12月より欧米などの一部の国で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始されたことを背景に、経済活動の正常化が期待され、ベトナムでも主要株価指数であるVN指数が上昇し史上最高値に迫っていたものの、高値警戒感などから国内の個人投資家を中心に売りが膨らむ展開となりました。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比で5%を超えて下落しました。

◆今後の見通し

英国や米国をはじめとした一部の国で新型コロナウイルスのワクチン接種が開始され、経済活動の正常化への期待が高まっているものの、各国での感染拡大に歯止めがかからず、厳しい防疫の下で感染拡大を抑制してきたベトナムにおいても、市中感染が確認されたことが懸念材料となっていることから、当面ベトナム株式市場では変動性の高い展開になると想定されます。ただし、ベトナム政府は感染者の出た地域の封鎖や感染者の隔離といった対応を即座に行っており、厳格な感染防止策を継続しています。また、世界的なワクチン接種の普及には年月を要するとみられていますが、多くの国ではワクチン接種を進める動きが継続しています。これらのことから、現時点での株価の急落は短期的なリスク回避の動きを中心としたものであるとみており、市場の過度なリスク回避姿勢が和らぐ局面では株式市場も落ち着きを取り戻すと考えます。中長期的には、ベトナムでワクチン接種が普及することにより観光業への恩恵が期待されるほか、ビジネスパーソンの自由な移動が可能となり海外からのFDI(海外直接投資)が拡大するとみえています。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、サプライチェーンの多様化の重要性が意識され、中国に代わる魅力的な製造拠点の一つとみられるベトナムでは、輸出関連産業等に向けた海外からのFDIを牽引役に、経済成長の回復が見込まれます。また、経済成長を背景とした所得の伸びや中間所得層の拡大により消費需要の加速も期待され、これらを好感したベトナム株式市場は安定的な成長軌道に乗っていくとみえています。

以上

* 文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 **4.40%(税込)**

信託財産留保額・・・上限 **解約金額・償還金額の 0.55% または1口(設定時1口1万円)あたり 250 円**

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 **年 2.035%(税込)**

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

***詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。**

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。